

グローバル推進機構主催 Collaborative Video Making プログラム 2022 募集要項

1. はじめに

岐阜大学では、国際化の推進と教育研究力のさらなる向上を図るため、2019年度に各国トップクラスの大学である、インド工科大学グワハティ校（IITG）およびマレーシア国民大学（UKM）とそれぞれ協働し、4つの国際連携専攻（ジョイント・ディグリー：JD）を開設しました。

専攻名	相手	学位	標準修業年限	言語
自然科学技術研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻	IITG	修士	2年	英語
連合農学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻		博士	3年	
工学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻		博士	3年	
工学研究科 岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻	UKM	博士	3年	

JDとは、本学と海外協定大学がそれぞれの強みを活かしたカリキュラムをもとに、共同で作成する教育課程です。学生は標準修業年限の中で、一定期間を相手大学で学びます。留学を伴う国際的な教育環境の中で講義履修および研究活動を行い、在学期間を延長することなく日本と海外における2大学の連名で、単一の学位を取得することができます。このJDの相手大学を知る機会として、2019年から派遣プログラム（スプリングスクール）を開始しましたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の国内外を含めた感染の広がりを踏まえ、派遣プログラムに代わるオンライン交流プログラム

（**Collaborative Video Making プログラム：CVMP**）を2020年から新たに実施しています。

2. CVMPについて

2020年度に続き、今年度実施するCVMPは、例年通り学生間における国際協働教育（交流プログラム）を主軸とし、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減するため、オンラインで実施します（Zoom等を利用したWeb会議方式です）。今回のプログラムでは、本学（2名）とIITG（1名）、UKM（1名）の学生がグループを組み、ストーリーを作成し、スマートフォンを使って、各国のメンバーに動画を撮影してもらいます。その動画を集め、動画編集会社（140Element, <https://www.140element.com/>）に各チームのストーリーに沿って一つの映像作品に編集してもらいます。完成した動画については、3月に実施されるウェビナー形式の発表会でプレゼンテーションし、各グループのストーリー性や独自性等に対して評価されます。

今回のプログラムでは、グループ間での会話や動画制作のスケジュール等の調整は、英語で行います。このプログラムを通して国を超えた交流を行う中で、国際的コミュニケーション能力、行動力、考察力を養うことを目的としています。また、プログラム内では動画編集会社による動画撮影のテクニックに関する指導もあります。

本プログラムを通して、海外の学生と「交流して」、同じ目的（テーマ）に向かって「協働して」、一つの作品を創作する「達成感」を経験してみませんか？本プログラムには各グループに本学教員がつき、皆さんが一步を踏み出す勇気をサポートします！

3. プログラム概要

○ 応募条件

- 以下の大学の正規学生である
 - 東海国立大学機構 岐阜大学・名古屋大学
 - インド工科大学グワハティ校
 - マレーシア国民大学
- 英語で読み書きができる
- 全日程参加できる
- スマートフォンのみを使って撮影することを理解している
- オンラインミーティングにビデオありで参加できる
- 撮影した写真を広報に使用することを許可する
- 25歳未満である

注意：本プログラムの動画編集は専門の業者が行うため、各個人の編集技術は不要です。

また、各チームで作成した動画を最後のコンペティションで評価しますので、各自で専門の機器を用いての撮影や、編集を禁止しています。

○動画テーマ

SDGs を考える

キャンパス内など身近な視点から SDGs について動画で表現してみよう！

○参加費

無料

○ 撮影ルール及び実施の流れ

動画の撮影は、個々の所有するスマートフォンの動画撮影機能のみを使用してください。他の機材/機器を利用した撮影は、映像の解像度や質の差が生まれ、公平性が保たれないため、禁止とします。また、スマートフォンアプリ等の特殊なフィルターや各自による加工は使用しないでください。(動画の加工・編集は制作会社が行います。)

撮影方法等のテクニク的な指導は、制作会社が行います。制作会社のプロデューサーが各グループのテーマを踏まえて助言を行います。

個人や個人の所有するもの、公共の場等での無許可での撮影や違法行為、危険な行為は禁止です。撮影時に個人の権利を侵害するか判断が付かない場合は、各グループを担当する教員に必ず確認するようにしてください。

各メンバーが撮影した動画は、グループリーダーが取りまとめ、動画編集会社に送付して編集依頼を行います。また、グループリーダーは、編集完了前に一度だけ動画の最終確認を行います。

2023年3月に予定している発表会では、初めに動画のテーマ、主旨、内容についてプレゼンテーションをし、最後に完成作品を放映します。発表された作品は、各大学・企業人による審査が行われます。

○実施の流れ・スケジュール

3か国の学生が12月から翌年3月までかけてテーマに沿った動画ストーリーを作成する長期間協働型ワークショップ

0	参加者決定	申込 11月6日 通知 11月11日
	事前ミーティング (日本人学生限定：日本語)	11月14日～30日までの間で参加できる日を調整 経験者からの交流時のアドバイスセッションを予定
1	Orientation	12月1日 or 2日 チームの発表、ルールの再確認、役割分担、日常のコミュニケーション方法、各チームで使用する専用FTPのパスワード決定等を行います。
2	1 st Workshop by a creative agency	12月8日 or 9日 各チームのメンバー全員が参加するセッションです。チームで撮影する意味や役割の確認、スマートフォンで撮影するコツを指導します。
3	2 nd Workshop by a creative agency	12月22日 or 23日 各チームのメンバー全員が参加するセッションです。
4	3 rd Workshop by a creative agency	1月12日 or 13日 チームリーダーのみが制作側への指示を行うセッションです。基本的にはこの日までに動画編集に必要な素材を準備します。
5	Video editing by 140 ELE.	1月23日～2月28日 各チーム順番に制作していきます。それぞれ出来上がったら専用FTP上で動画の確認依頼がきます。 楽しみに待ちましょう！
6	Competition	3月中旬 各チームでどういう経緯で動画のテーマ、ストーリーを作成したのかプレゼンテーション形式で解説してもらいます。ルールを厳守したか、プレゼンテーション内容及び動画自体を評価して最優秀動画を決定します。

※実際の日程は参加メンバー等の諸事情を考慮して調整する場合があります。

○ 注意事項

- 決められた期日を守れない場合には、本プログラムや本プログラムで提供される指導への参加が認められなくなることがあります。
- 完成した作品は本学の広報目的で使用され、YouTube等のWeb上で公開されます。そのため、参加にあたっては「広報活動における肖像権、著作権、個人情報の使用に関する同意書」の記入・提出が求められます。

- 人物の撮影、公共の場での撮影には特に注意を払い、必要な「放映承諾書」をプログラム参加者自身で取っていただく必要があります。
- 完成した作品の著作権は岐阜大学グローバル推進機構に譲渡されます。

○ 申し込み

- 以下の申込 URL から申込ください。
<https://forms.gle/1bUJqfN3RdxqXUUt8>

- 締め切り： **2022年11月6日（日）**（日本時間）

4. 問い合わせ先

- 詳細は、グローバル推進機構にお問い合わせください。 E-mail: kokusaik@gifu-u.ac.jp